山口県内の経済情勢

令和８年11月５日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所財務課
TEL：(083)922-2190㈹

HP 掲載先：
https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm

調査結果は、こちらからも確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復しつつある中、一部において一服感がみられる。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	**回復しつつある中、一部において一服感がみられる**	→
生産活動	持ち直しつつある	**持ち直しつつある**	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	**緩やかに改善しつつある**	→
設備投資	8 年度は前年度を上回る見込み	**8 年度は前年度を上回る見込み**	→
企業収益	8 年度は増益見込み	**8 年度は増益見込み**	→
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	**「下降」超幅は縮小**	→
住宅建設	前年を下回る	**前年を上回る**	↗
輸出	前年を上回る	**前年を上回る**	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費「回復しつつある中、一部において一服感がみられる」

家電大型専門店販売は、エアコンなどが好調であることから、前年を上回っている。ドラッグストア販売は店舗数の減少による影響や OTC 医薬品、ホームセンター販売は家庭用品・日用品、百貨店・スーパー販売は飲食料品などが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は、普通車や小型車が堅調であることから、前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

- 7 月は猛暑によりエアコンの売上が伸長した。そのほか、価格の上昇から携帯電話の売上が前年を上回っている。足下、山口県の省エネ家電等購入支援の効果は落ち着いてきている。（家電大型専門店）
- 5 月の医薬品販売制度の改正で一部の医薬品の販売方法を変更した影響で、OTC 医薬品の売上が減少している。一方で、ネットで評価の高い化粧品などは高額でもよく売れている。（ドラッグストア）
- 6 月の雨や 7 月・8 月の猛暑のほか、値上げの影響から、客数自体も減少している。物価高の状況が長く続いているため、顧客は物価に敏感になっており、どの店が安くてどの店が高いかをよく把握したうえで購入しており、日用品などは他店より高いものは売れ行きが良くない。（ホームセンター）
- 米は価格の下落、販売数量減少により売上が大幅に減少。前年の価格が高すぎた反動。（スーパー）
- 生鮮食品はスーパー、加工食品や日用品はより安価なディスカウントストア等で購入するなど、店舗を使い分ける傾向が見られる。（スーパー）
- 新型車の発売や CEV 補助金の効果から、普通車・小型車の販売台数が増加している。（自動車販売店）
- 旅行費用は継続して上昇しているが、需要は堅調。国内旅行は、猛暑の影響から夏休みやお盆は旅行を控え、秋以降に時期をずらす傾向が見られる。海外旅行は、依然としてシニア層を中心に欧州が人気であるほか、若年層には韓国や台湾が人気。中東方面も渡航規制の緩和から少しずつ回復基調にある。（旅行代理店）

■ 生産活動「持ち直しつつある」

化学は医薬品の増加や足下の原材料調達環境の改善、鉄鋼、汎用・生産用・業務用機械は半導体関連製品が堅調なことなどから、増加している。

輸送機械は底堅く推移している。

- 人手不足による工期の長期化や資材価格の高騰を背景に、配管材など住宅関連製品向け需要が低調に推移しているものの、足下の原材料供給不安が解消されたことで、生産は持ち直している。一方で、依然として原材料価格は高止まりしており、利益確保が課題となっている。（化学）
- 国内の半導体製造装置向け需要が増加しており、生産はやや上向いている。（鉄鋼）
- AI 需要の拡大を背景に、半導体関連製品の受注は引き続き好調に推移している。（生産用機械）
- 前年の米国関税による生産抑制の反動や一部車種の国内生産への切替えなどから、生産は持ち直しの動きが続いている。（輸送機械）

■ 雇用情勢「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、堅調に推移している。

新規求人数は、建設業、卸売業・小売業などで減少しており、前年を下回っている。

- 建設業では慢性的な人手不足は続いている。一方で、原材料価格高騰による建設コスト上昇が続いており、受注減少や工期延期が発生していることから、現状の人員で対応し、新規採用を控えているとの声も聞かれた。（公的機関）
- セルフレジ導入による効率化のほか、求人への応募が少ない地域や部門では、業務の一部の外部委託や、外国人技能実習生の採用を行っている。（小売）

■ 設備投資 「8 年度は前年度を上回る見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業は、パルプ・紙等などで減少するものの、化学、鉄鋼などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。

○ 非製造業は、鉱業・採石等などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。

- ➢ 成長事業での生産能力増強のため、新規設備投資を進めている。(化学)
- ➢ 半導体の需要拡大を見据えた生産能力増強のため、設備投資を進めている。(鉄鋼)
- ➢ 輸送能力の維持・向上を目的とした設備投資を計画している。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「8 年度は増益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、化学、パルプ・紙等などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○ 非製造業は、建設などで減益となるものの、小売、運輸・郵便などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅は縮小」(全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

○ 新設住宅着工戸数は、給与住宅、持家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

○ 輸出(円ベース)は、一般機械、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、北米などで増加している。

なお、輸入(円ベース)は、石炭、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、北米などで増加している。

資　料　編

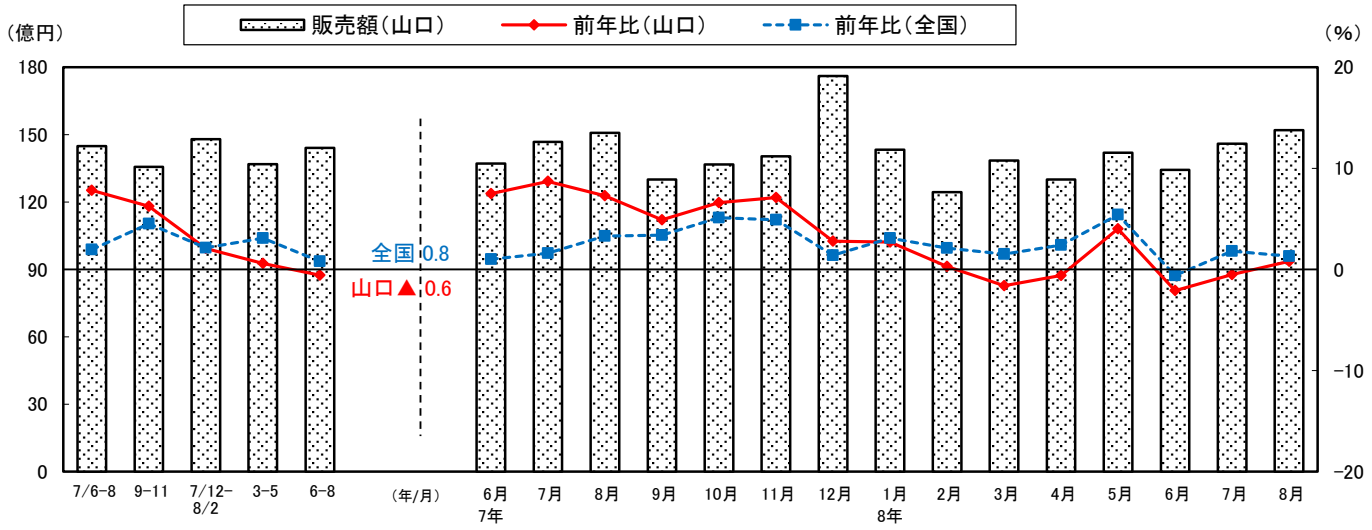
目　次　　ページ

1. 個 人 消 費 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1
2. 生 産 活 動 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3
3. 雇 用 情 勢 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4
4. 設 備 投 資 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 5
5. 企 業 収 益 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 5
6. 企業の景況感 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
7. 住 宅 建 設 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
8. 輸　　出 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 7

1. 個 人 消 費　回復しつつある中、一部において一服感がみられる

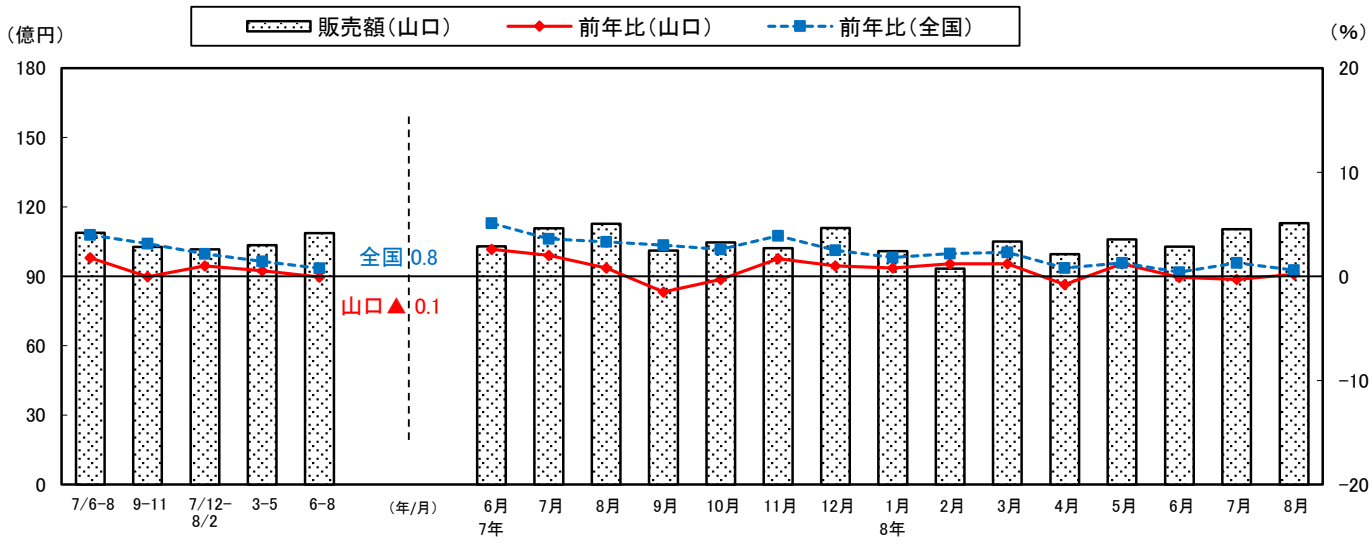
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

(注)(1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



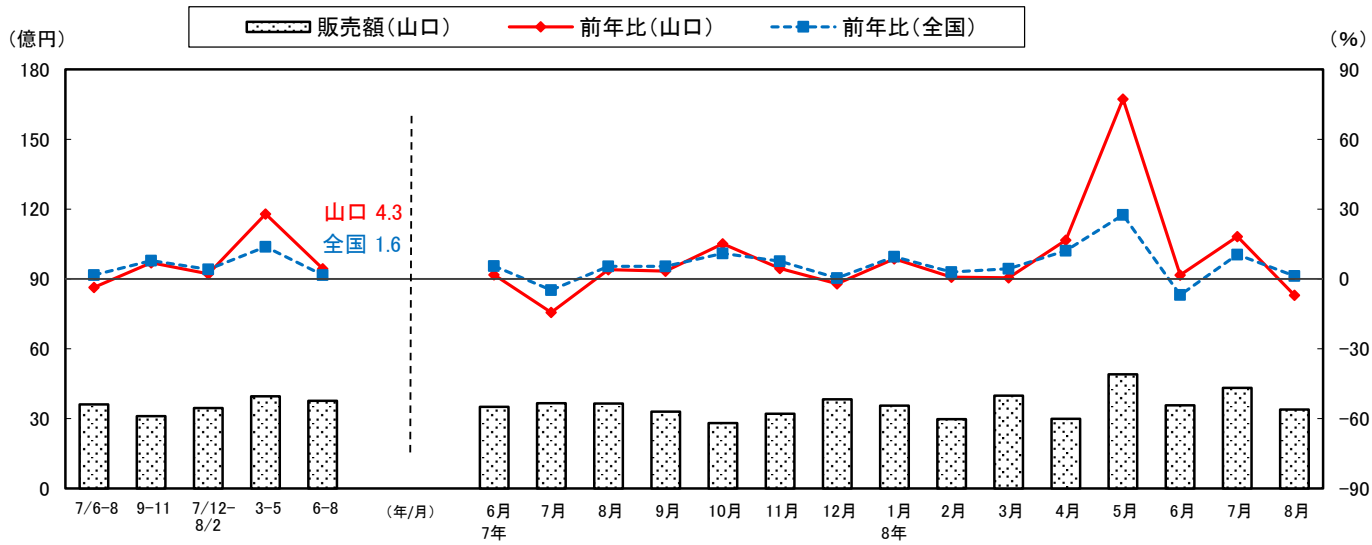
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



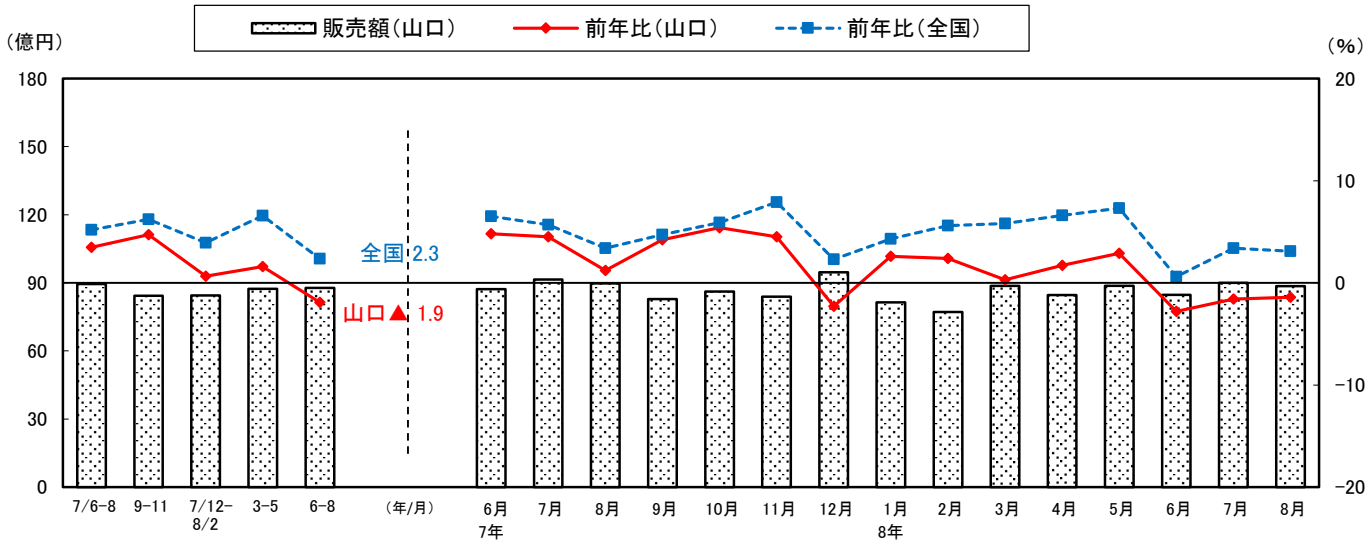
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)



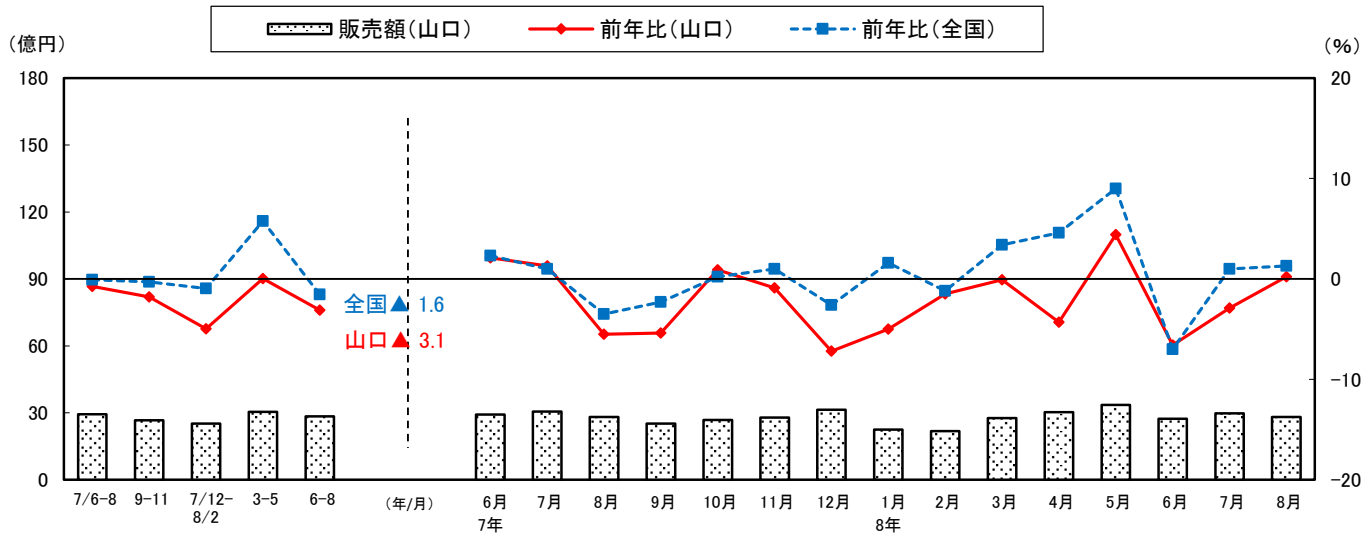
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



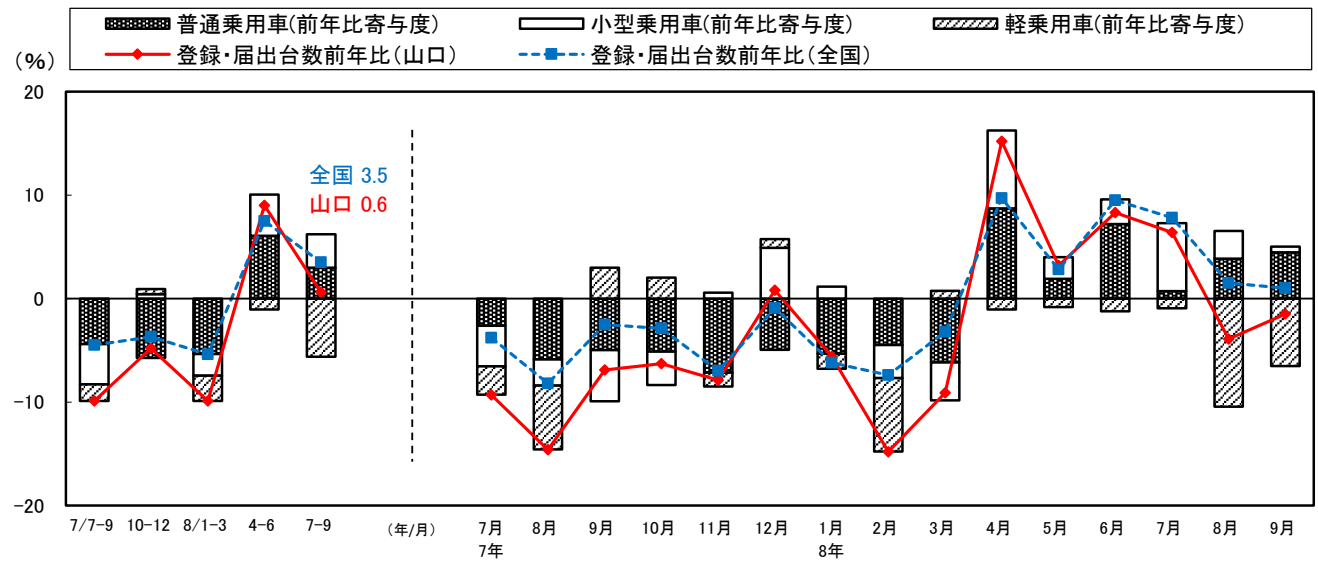
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

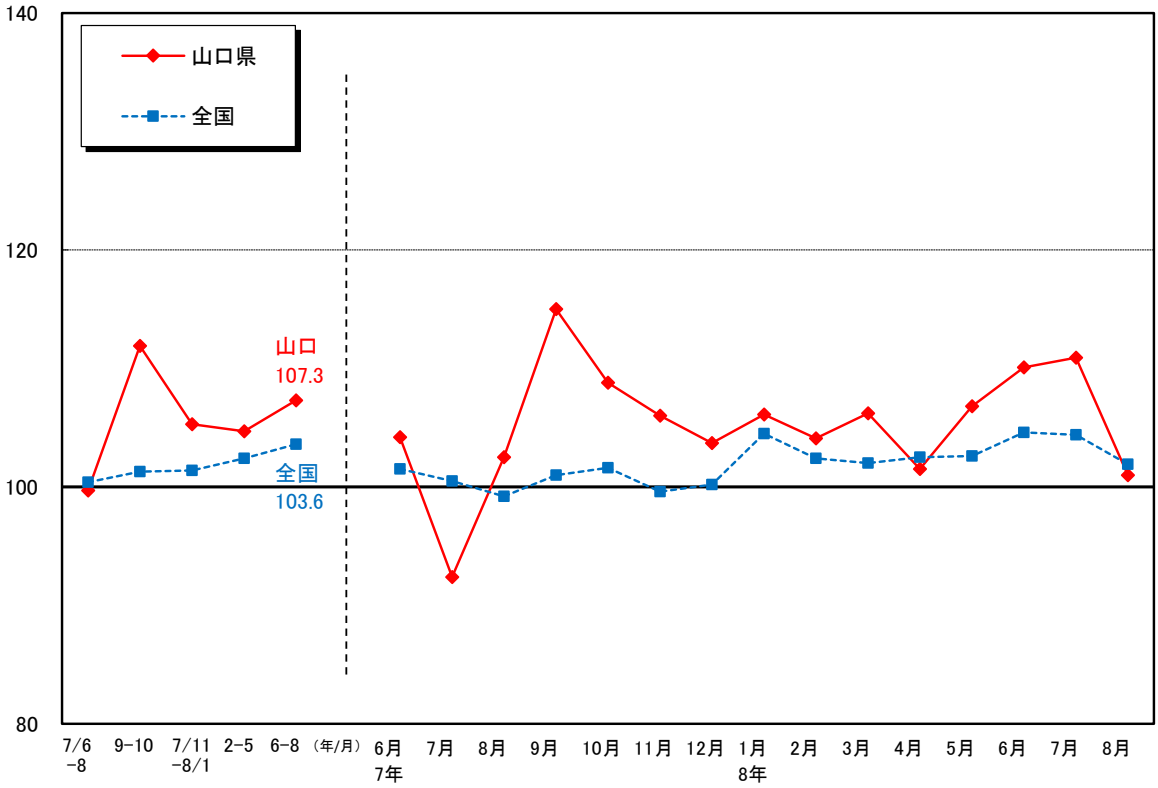


(資料出所:中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生 産 活 動　持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

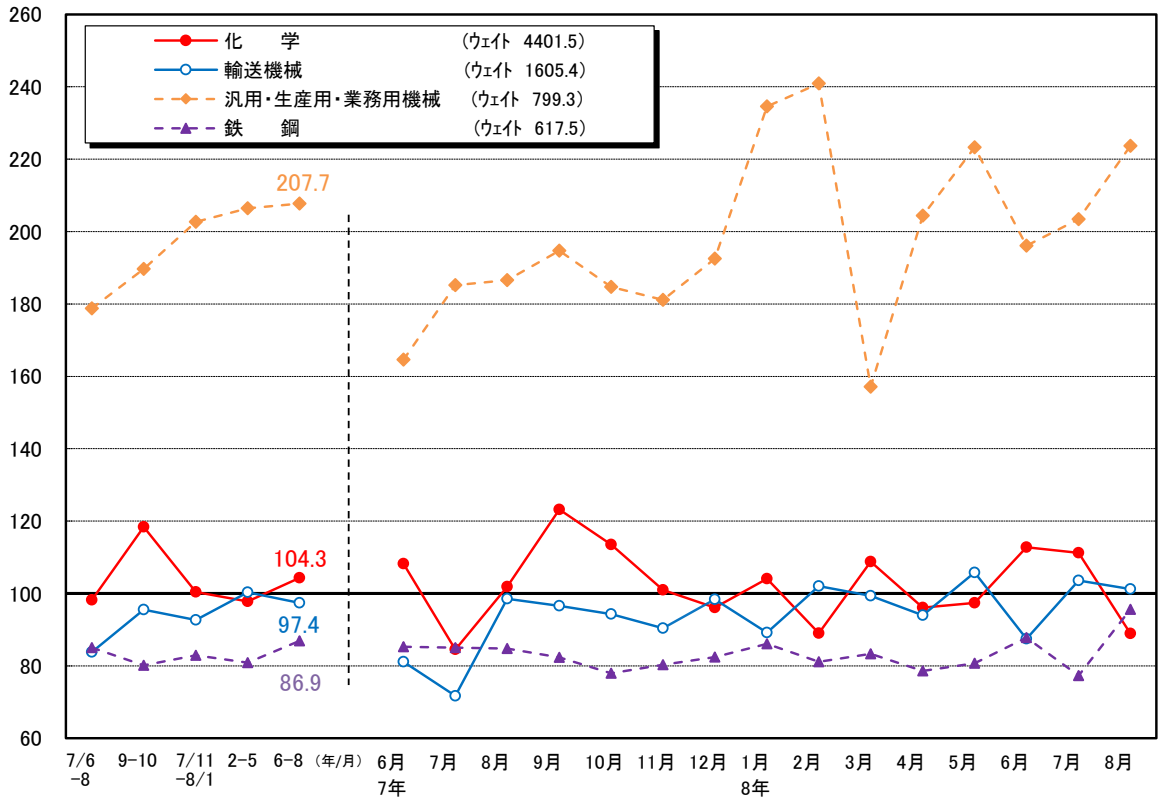
（指数）（令和2年＝100）



（資料出所：経済産業省、山口県）

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

（指数）（令和2年＝100）

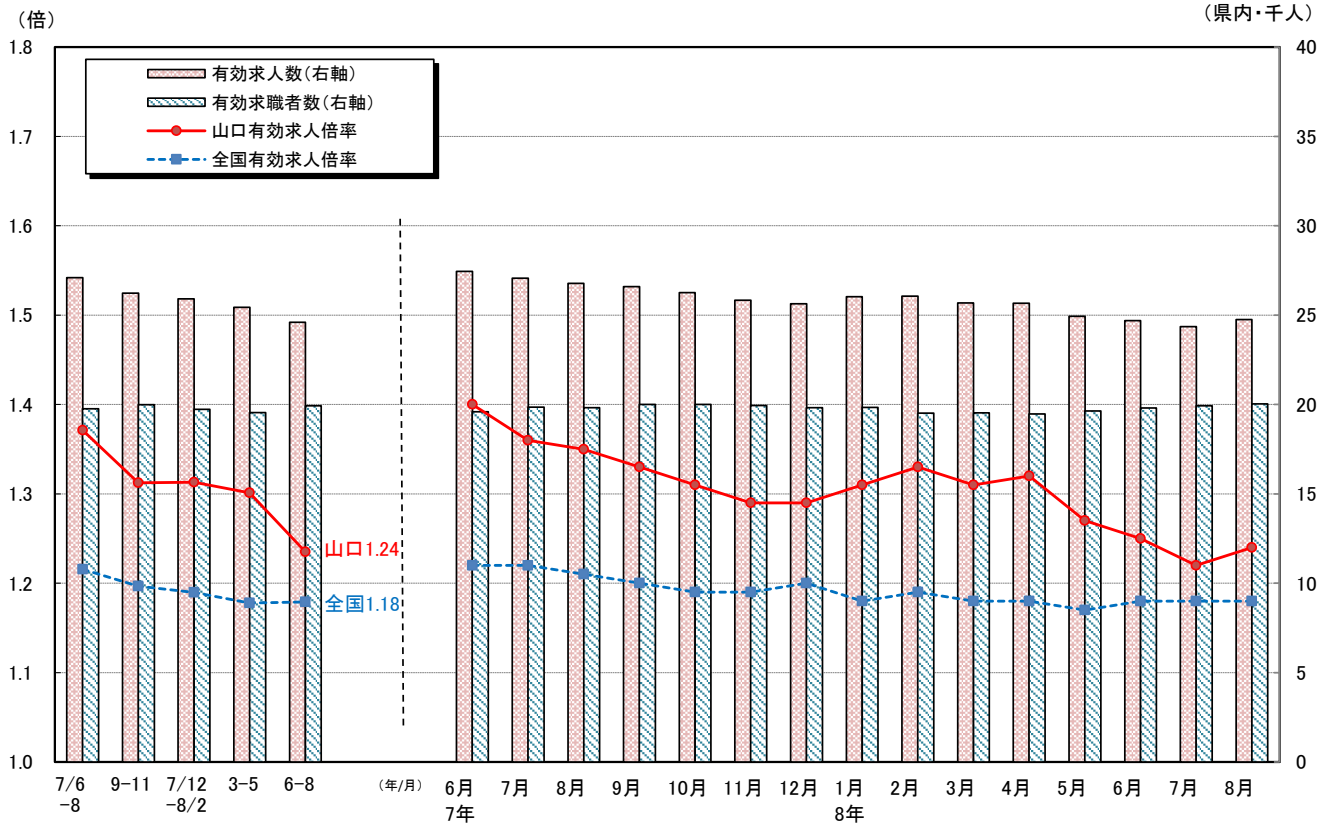


（資料出所：山口県）

3. 雇 用 情 勢　緩やかに改善しつつある

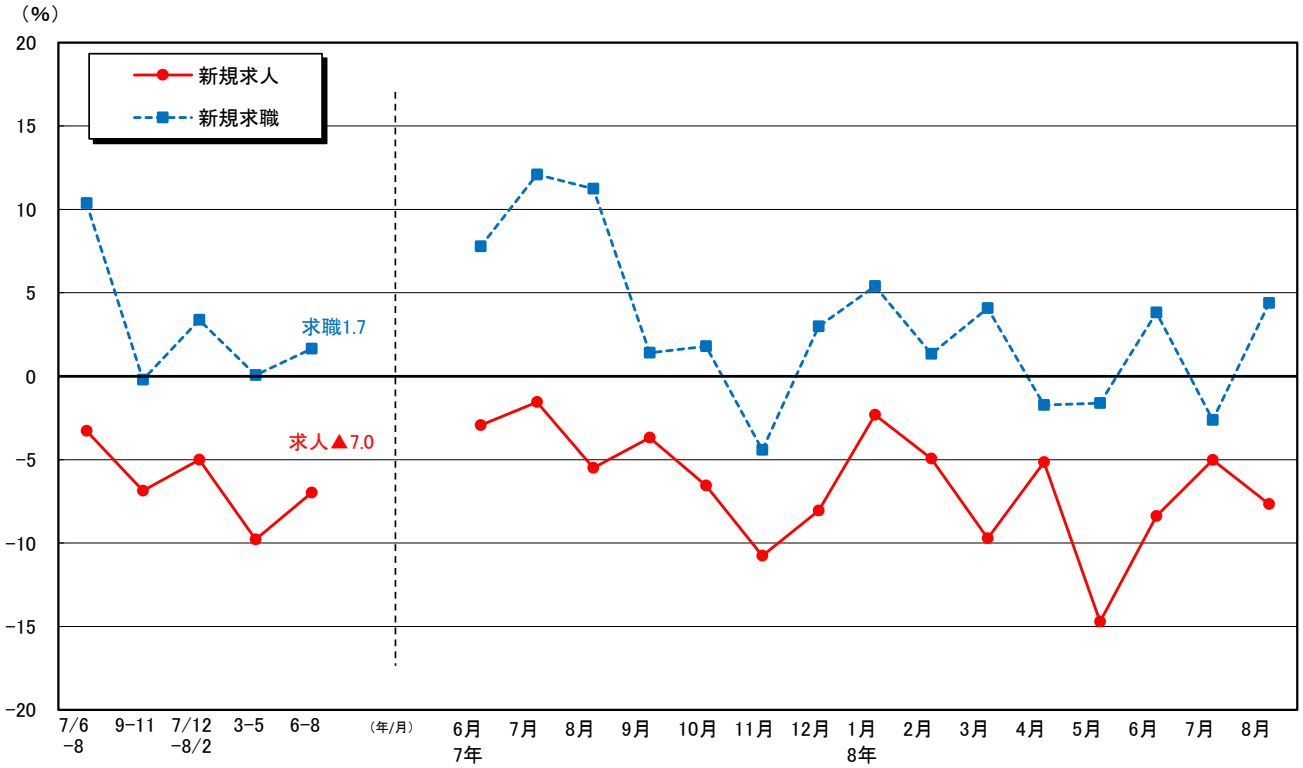
（注）(1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



（資料出所：厚生労働省、山口労働局）

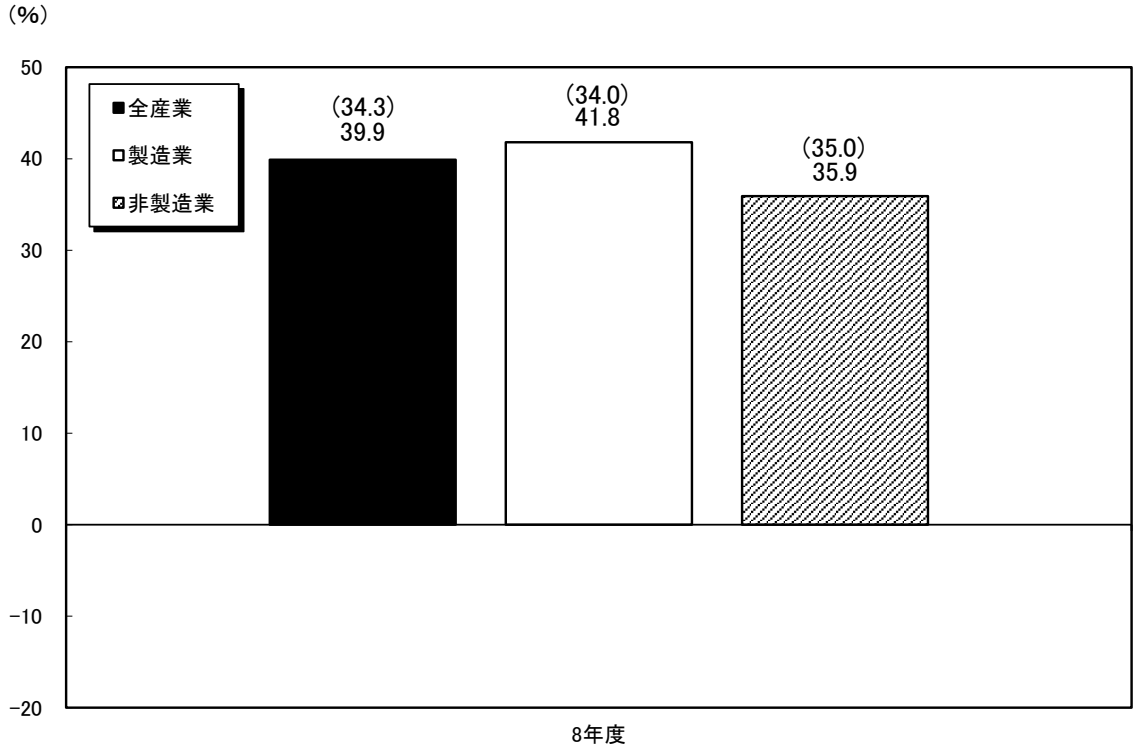
(2) 県内新規求人数・求職者数（学卒を除く、原数値）の前年比



（資料出所：山口労働局）

4.設 備 投 資　8年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

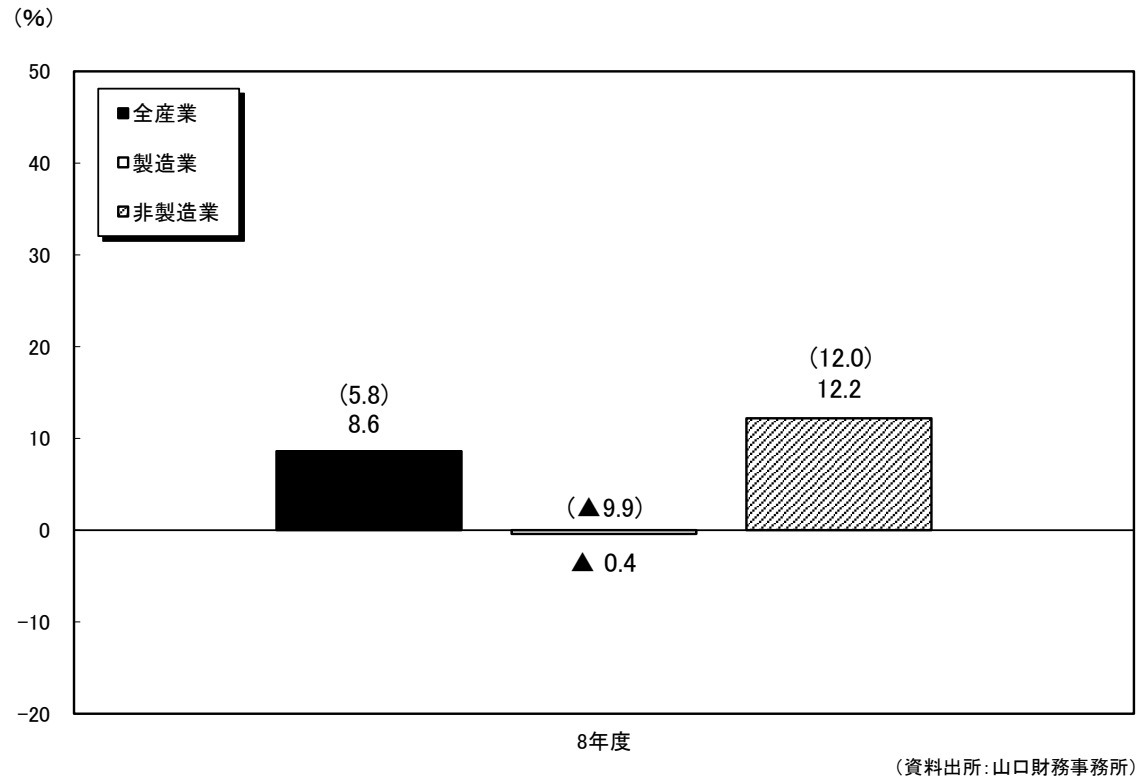


(資料出所:山口財務事務所)

※()書きは前回(8年4～6月期)調査結果

5.企 業 収 益　8年度は増益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)

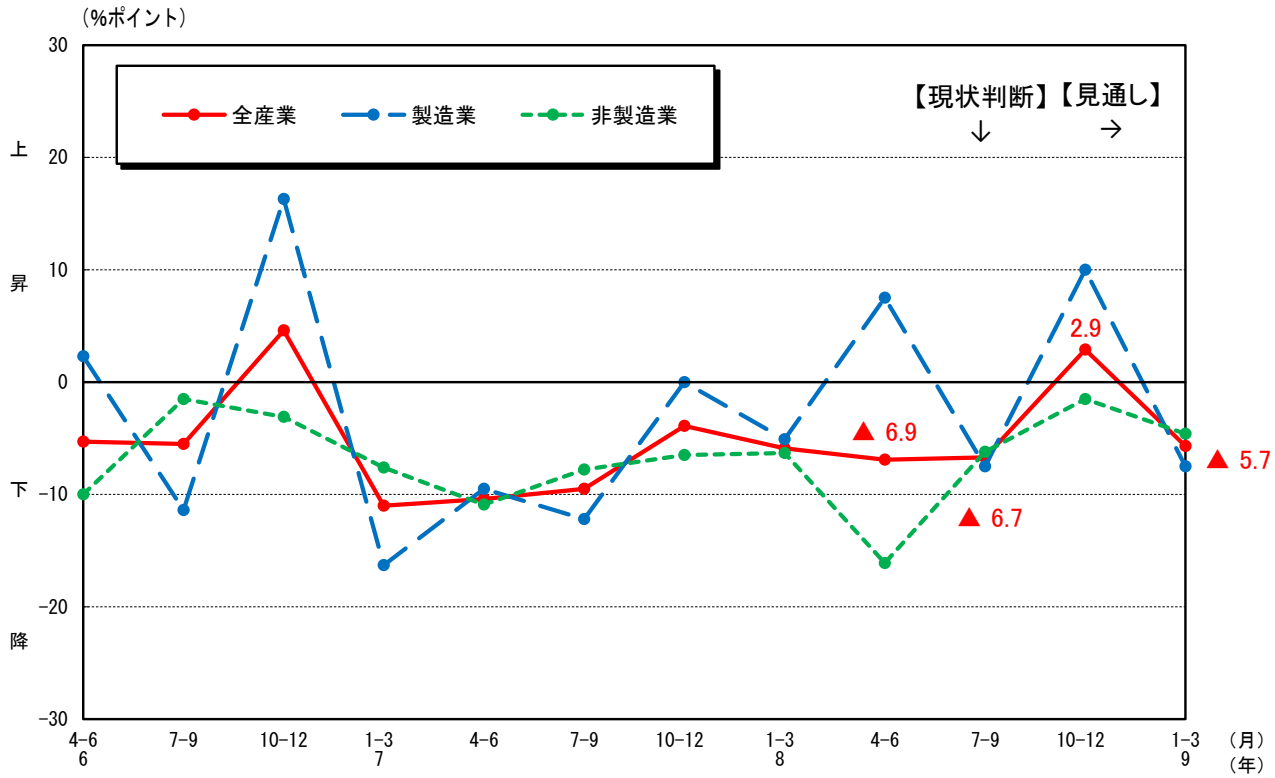


(資料出所:山口財務事務所)

※()書きは前回(8年4～6月期)調査結果

6.企業の景況感　「下降」超幅は縮小

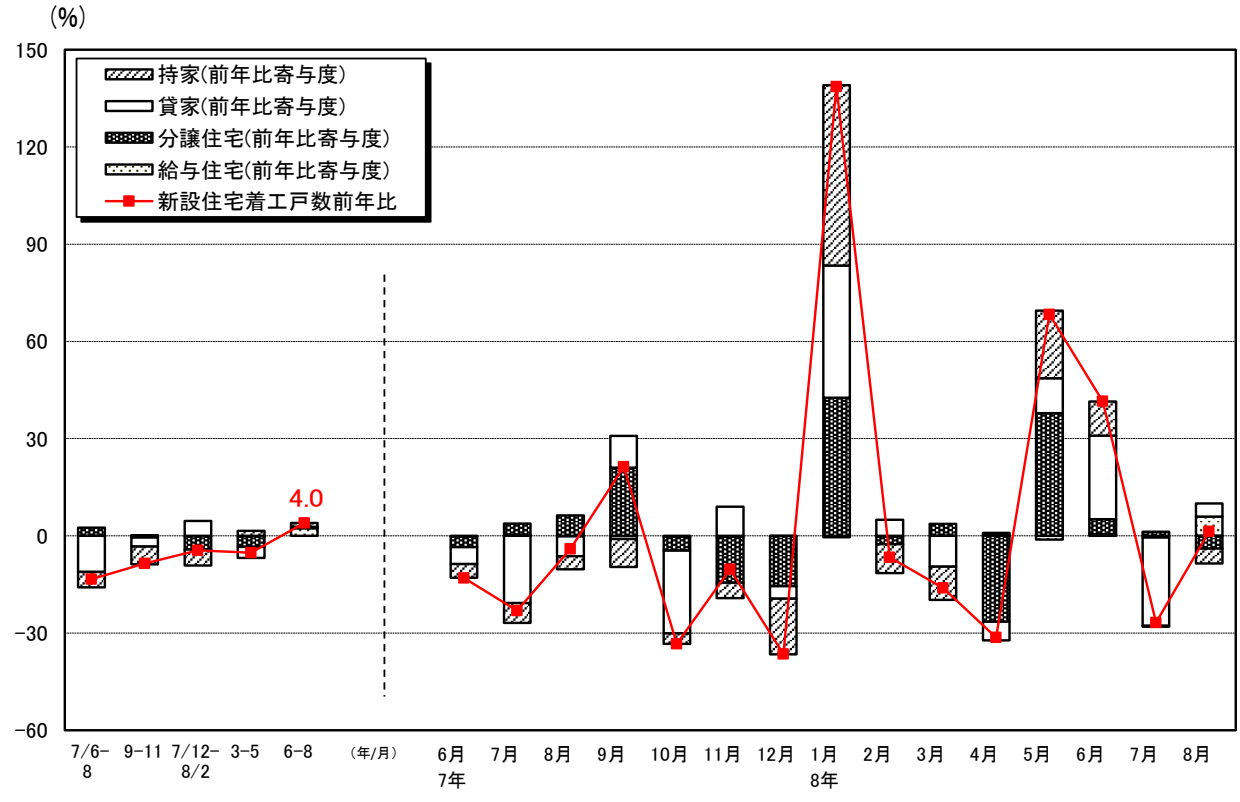
景況判断BSIの推移（原数値）（BSI：前期比判断「上昇」−「下降」社数構成比）



（資料出所：山口財務事務所）

7.住 宅 建 設　前年を上回る

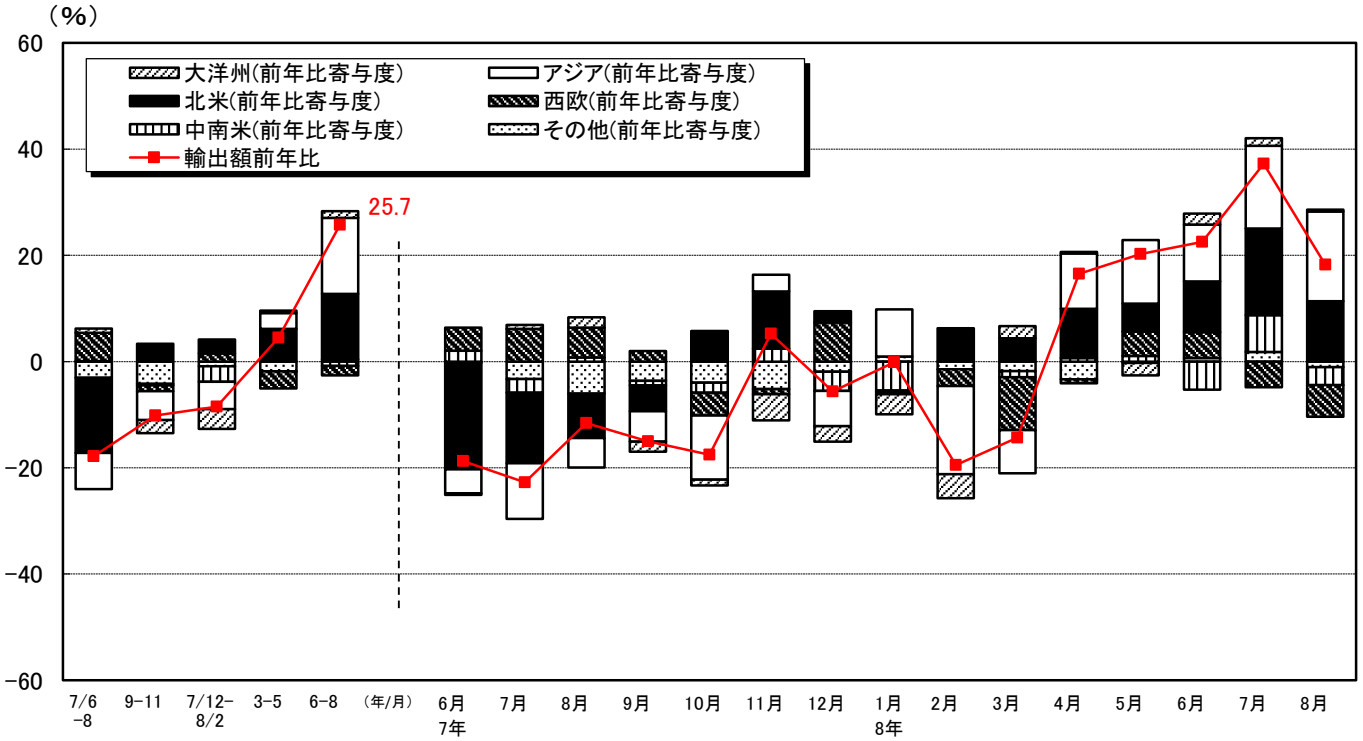
新設住宅着工戸数（前年比）



（資料出所：国土交通省）

8. 輸 出　　前年を上回る

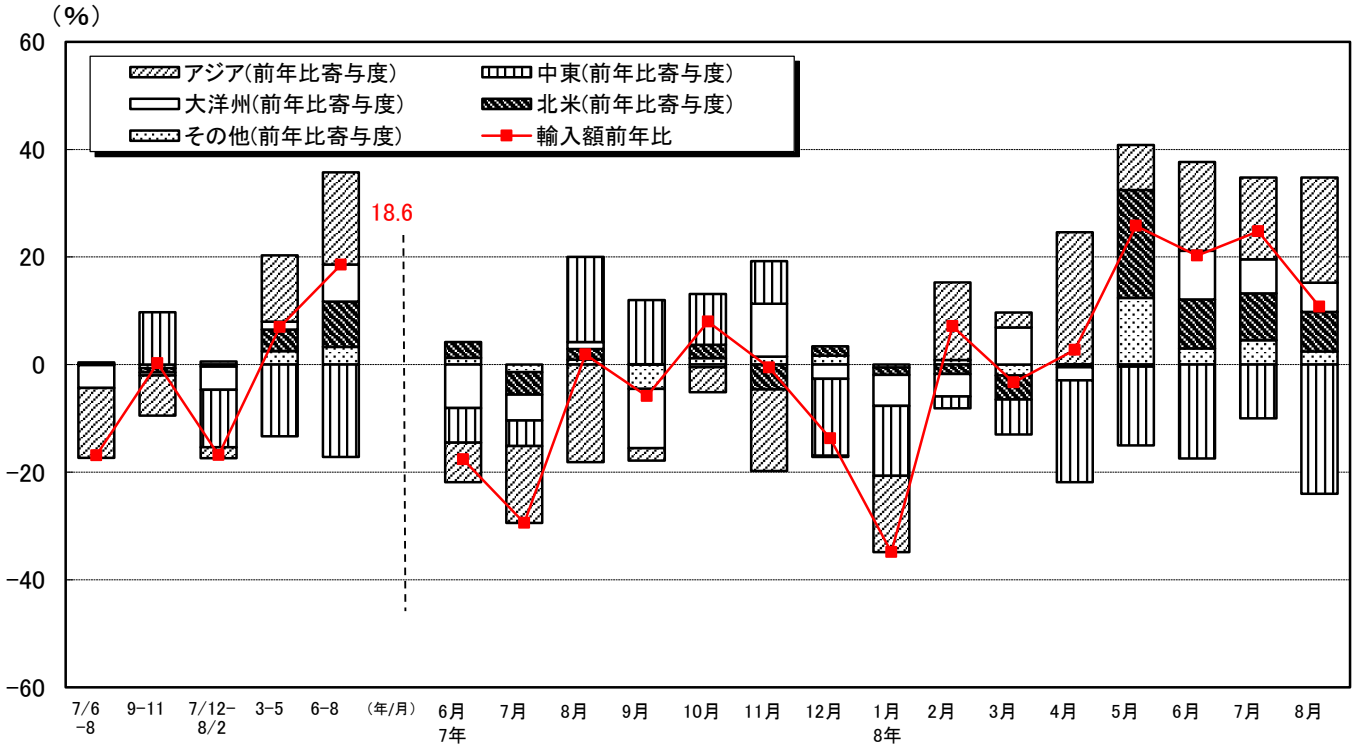
輸出(円ベース)



(資料出所:神戸税関、門司税関)

＜参考＞

輸入(円ベース)



(資料出所:神戸税関、門司税関)